



"To acknowledge the duty that accompanies every right"
 Affiliated with the International Association of Y's Men's Clubs

THE OSAKA CENTENNIAL

C/O KITAMURA BUSINESS CONSULTANTS OFFICE
 503 Shinsaibashi Urbanlife
 1-5-12 Nishi-Shinsaibashi Chuou-ku
 OSAKA 542 JAPAN

NOVEMBER 1994, No. 5
 The Service Club to the YMCA
 Chartered September 25, 1982

MOTTO (1994~1995)

- I P "SERVICE WITH VISION" "ビジョンある奉仕"
 A P "TOWARDS GROWTH AND BROTHERHOOD IN GLOBAL COMMUNITY" "深めよう 地域社会に兄弟愛を"
 R D "INNOVATION WITH COURAGE, ACTION WITH HEART!" —AIM HIGH AT 6000—
 "勇気ある変革, 愛ある行動!" —日本区6000への実りを求めて—
 D G 『わかち合うY'S』
 C P 『レッツトライ (LET'S TRY)』

=月間強調テーマ「BF・EF」

--- = 11月の聖句 = ---

兄弟たち、あなたがたは、自由を得(え)るために召し出されたのです。ただ、この自由を、肉に罪を犯させる機会とせず、愛によって互いに仕えなさい。律法全体は、「隣人を自分のように愛しなさい」という一句によって全(ま)と(と)うされるからです。

ガラテヤの信徒への手紙 5章13~14節

=== 11月第1例会 ===

日時: 1994年11月16日(水) 6:30~8:30 p.m.
 場所: 大阪グランドホテル

司会: 栗山佳三君

1. 開 会 点 鐘 三浦直之会長
2. ワイズソング 一 同
3. 聖 句 朗 読 平田 雅利君
4. ゲ ス ト 紹 介 三浦直之会長
5. 日々の糧及び黙 禱 一 同
6. 晩 餐 一 同
7. 「BFを知ろう!」

(1) 切手整理 —その苦勞と楽しみ—

BF・EF 事業委員長 長瀬由香子君

(2) 「BF 代表の旅から」 土佐堀クワ 長尾 亘君

8. お 誕 生 日 祝 い 一 同
9. ニコニコ 献 金 ド ラ イ バ ー
10. Extention 報 告 設 立 準 備 委 員
11. 役 員 会 ・ 委 員 会 報 告, YMCA ニュ ー ス
12. 閉 会 点 鐘 三浦直之会長

= 11月お誕生の方 =

Happy Birthday to following people

長瀬君 5日 山村君 6日
 掛江メネット 27日 真嶋君 29日

= 11月第2例会 =

日時: 1994年11月24日(木) 6:30~8:30 p.m.

場所: 大阪グランドホテル

(11月の第4水曜日は祝日のため24日(木)に変更)

10月在籍者	10月 出席者		10月出席率	BFポイント
32名			63%	10月分切手 4,046 pt
広義会員	メン	第1期 20名 第2期 6名	(マイキャップ誌)	" 現金 1,000 pt
0名	メネット	6名	前月出席率	
合計	コメット	0名	修正 - %	本年累計
32名	ビジター	1名		切手 10,290 pt
	ゲスト	4名		現金 2,000 pt
	合 計	31名		

◎大阪セントラルYMCAクラブ
 役員

会 長: 三浦 直之
 副会長: 掛江 康一
 " : 杉浦真喜子
 書 記: 秋月 利英
 " : 栗山 佳三
 会 計: 津田葉清政

◎ニコニコ献金:

28,500円

◎11月第1例会当番: (第3班) 平田君, 伊藤君, 秋月君, 河野君, 栗山君:
 会場の受付・準備・後片付けなど宜しくお願いします。

敬弔

灰谷美智子日本区メネット事業主任には、去る10月21日午後0時35分、胸部大動脈瘤破裂により兵庫医科大学病院にて帰天されました。享年 59 歳。茲に当クラブとして、ご功勞に感謝の念をお捧げするとともに、謹んで哀悼の意を表します。

今月の聖句に寄せて

自由とは人間の持つ基本的な欲求です。

50年前までは、私たちの日本の社会は軍国主義の嵐が吹きすさび、思想統制のもとにあつて、自由に発言することが禁止されていました。それが、敗戦によって民主主義の社会になり、今日、日本は世界中でも自由な社会となっています。しかし、その与えられた自由を、果たして正しい意味で理解しているでしょうか。

自由を放縱とはき違えて、本能の赴くままに、自分さえよければという考え方が、世の中を支配してはいないでしょうか。

今月とりあげた聖書の言葉は、「この自由を、肉に罪を犯させる機会とせず」とあるように、日常生活が本能的な欲望に支配されることを戒め、「愛によって互いに仕えあう」べきことを教えています。

エーリッヒ・フロムはその著書「自由からの逃走 Escape from Freedom」の中で、人間は自由には責任が伴うので、自由に判断することに不安を感じて、折角持った自由を捨てて、他の人々に附和雷同する、楽な道をえらぶ傾向のあることに対して警告を發しています。

(聖句撰・解説：黒田 巖 之)

BF 10月分報告

(BFポイントは第1面に掲載)

◎切手・現金提供者(敬稱)

山村、津田葉、矢部、鈴木、森、杉浦、栗山、山田、藤原、三浦、谷川、平田、藤本、藤井、田中、黒田、隅田、福永

以上 18名 pt順

◎8月の異物混入事件(隅田氏の証明写真等)も10月例会にて一件落着となりました。皆様、これからは恐れずに切手等お寄せ下さい。

尚、10月中間締切分として、切手 大型1kg、小型2kg、日本区へ発送しました。

(BF委員長 長瀬由香子)



(現地事情を切々と話される山地和家子さん)

10月第1例会報告

山村 幸明

当日の例会のゲストスピーカは、当クラブの所属する大阪YMCA国際・社会奉仕センターより派遣の山地和家子さん。今春3月にも新聞で報道されたシニア国際協力のシニアボランティアの一人です。

指導者派遣事業として郵政省のボランティア保険の援助により、1992年より現在迄5回に亘りミャンマー国(ビルマ)の首都ヤンゴン(ラングウン)を中心に縫製の指導をされています。現在まで140名余りの現地の女性に指導され、その成果は実を結んでいます。

女性は明るく、美しく、熱心で、教えるだけでなく、教えられる方が多いとのこと。ミシンを交代で踏み、みるみる内に上達されるそうです。紙が不足、化粧品はタナカ、ロンジーの着用、ゴム草履と日常生活の説明、ホームビジットで家庭内状況、部屋は電灯がないため薄暗く等々。

何時も出発の時はボランティア仲間と生地や毛糸を集めて持参され、重さにして70キロにもなるそうです。今後会員からの援助の依頼がありました。

目下ミャンマー語を勉強中。言葉が通じると、相手の表情がますます生き生きとなるとのこと。当日のスピーチは“ミンガラバー”(こんにちは)から始まりました。

—— 昨年末の訪問時、山地さんと共に私も同行させていただきました。その行動ぶりを拝見しております。

ヤンゴンからマングレーへ向う夜行列車の中で団員みんなで作詞してつくった歌です。

— —

1) 空と大地のはざまに 是るか夕陽が沈む
広い草原に歩む 人と牛と長い影

空がこんなに青い 大地がこんなに広い
時が止まるほどゆるやかな 川が紅く染る

静かな時を重ねる どこまでも続く道
それが私達が出会った あふれる緑の国

- 2) 優しい目をして語る ほほえみ交わす人達
きらめく笑顔が眩しい はじける声の子供達

夢を見よう共に 汗をかこう共に
いつも聞こえている歌声 誰もが現在を生きる

優しい目をして語る ほほえみ交わす人達
それが私達が出会った あふれる心の国

心象

= 10月第2例会報告 =

10/26(木) 18:30~ 数煙グランドホテル

- (1) 11月第1例会(11/16)について
別掲の通り。
- (2) 11月第2例会は第4水曜日が祝日のため、
翌24日(木)とする。
- (3) 12月第1例会(12/21(木))
 - ・クリスマスファミリー例会とする。
 - ・場所は大阪グランドホテル葵の間(3F), 予約済。
 - ・当日の企画については、平田MET事業委員長、矢部、津田葉、笹江各メンに依頼する。
 - ・この例会において、金沢善郎君の入会式を挙げる。
 - ・全員の写真撮影。笹江君に撮影をお願いする。
 - ・ニコニコ献金はYMCAクリスマス献金とする。
- (4) オークフェスティバル(10/30(日))
収益は留学生基金に充てる。
- (5) 米年度第2回「究極のバザー」打合せ
10/29(土)5:00~6:30p.m. 大阪YMCAヴェクセルにて開催。
- (6) なにわ(仮称), センテナリアル会員交流例会
11/8(木) 於大阪グランドホテル
 - ・卓話: 「ボランティア運動とワイズメンズクラブ」
黒田蔵之君
 - ・新メンバー予定者は現在17名(不確定者を含む)。
- (7) 関西いのちの電話バザー(11/19(土))
 - ・出来る限り多くの方のご協力をお願いします。
(別掲参照)
- (8) 大阪YMCA協力会員の集い(10/22(日))の当クラブ
割当会員券の未販売分は、Yサの経費にて負担する。
- (9) Y's 帽子購入について
今回発売のY's帽子(@¥1,300)は赤・青各10個を
備品として購入し、行事のとき貸出すこととする。

今すぐ出来る小さな ボランティア

こんな物を集めましょう。
お宅にゴロゴロしている(お眠っている)
① ボタン ② 針 ③ はさみ
④ 小布(パッチワーク用) など。

先月(10月)例会でお話して下さった
山地 和家子 さんは、12月22日、6度目の
ミャンマー(及びベトナム)への縫製指導の旅へ
出発されます。あの例会の時の呼びかけに答えて、
私達も小さなお手伝いをしませんか?
(方法1) 例会に上記の物を持参する。
(方法2) YMCA社会奉仕センター(土佐堀)
へ上記の物を届ける。
(笹江さん宛に郵送も可)

(杉浦)

= 10月度メネット会報告 =

メネット会長 隅田 恵子

10月19日5時から7名の参加で行いました。久しぶりにお元気で参加の鈴木メネット、ゲストの東京Y'sの上原玉音メネット、田中、平田、福永、森メネットで楽しく語りました。

議題は、メネット国際及び国内事業への協力金の件、今後のバザーのお手伝い、もう少し活動を広げるにはどのようにすればよいかなど話しあっていました。現在お茶と衣料品、ストッキングの販売で活動資金を得ておりますが、もっと販売するものを増やして、活動を活発にしていってはどうかということになりました。新たな販売品について皆様にお知恵を拝借したいと思います。

最後に、11月10日(木)箕面の滝まで「歩こう会」のお知らせが、平田メネットからあり、皆元気で集合する約束をし、メネット会を終わりました。

(10月第2例会報告続き)

- (10) 未使用テレホンカード提供依頼
Yサ・ASF資金を補うため各自の手元にある未使用テレホンカードを提供願うこととする。
—田中Yサ事業委員長までご提出のこと—
- (11) 大阪YMCA国際ファミリークリスマス(12/17(土))
(別掲参照) ボランティア関係は田中君に依頼。
- (12) 北見クラブより新巻鮭: 第1例会にて申込の事。
- (13) その他

(煥: 猷)

新クラブ設立準備委員

杉浦 眞喜子

「なぜ今、女の Y's なの?」。わがセンテニアルクラブがいよいよ新クラブの設立を決め、しかもそれを女性メンバーのみのクラブにしようということになって以来、いろいろな方に、そのことをお話し、お誘いしてみましたが、その時よく聞かれるのが、この問いです。「う?」一瞬何と答えていいか、返事に窮してしまいます。

そう!この世には男と女がいるんですもの、別に女だけであることないですよ! やっぱり男の人と一緒にいるほうが楽しいですよ! 特にセンテニアルの男性はみんなとってもやさしいから、結構チャホヤしてくれて、居心地がいいですよのね!

別に Y's における「女権拡大」なんて大それたことを考えているわけでもありません。センテニアルで居心地悪いから、なんてこともさらさらありません。

「たかが Y's, されど Y'S」。クラブにもいろいろあっていいのでは? 男ばかり、あるいは男の多いクラブ(現在の日本にはこの二つしかない)。男と女が半分づつのクラブ。女の多いクラブ。そして女ばかりのクラブ。それぞれが、それぞれの特徴を生かしてふさわしい活動をし、しかもお互いにメンバーが訪問しあったり、一緒に会合をもったりする。こんなダイナミックな交流があったら素敵だと思いませんか? われわれのブラザークラブ香港のホビニアクラブは女性ばかりのクラブ。とっても元気で、素敵です。何かしようとなると、それぞれのパートナーも加わったり、他クラブの男性がやって来たり、いつもにぎやかで、華やかで、なごやかです。

センテニアルクラブは、もともと新しいもの好き、他とはちょっと変わったことをしたいのが特徴。だから、日本で初めての「女性メンバーのみのクラブ」を作りたいのです。

でも・・・私自身は、実は密かに考えているのです。どうせ作るのなら、作ってよかったと思えるようなクラブを、「オッ! 女もやるな」と思われるようなクラブを、出来たら「女のよさ」が出せるような一味違うクラブを、そんなクラブを作りたい。だから「なぜ今、・・・?」なんて聞かないで、「ワッ、ステキ!一緒にやりましょ!」と言って下さる女性をたくさん連れて来て下さいね!

＝投稿についてお願い＝

前号にてお願いしましたが、皆様方のご投稿を歓迎致します。内容は、ご意見、ご提案、旅行のエピソードを始め、日常生活でお気付きになったことなど自由にお書き頂ければ結構であります。字数自由。/

新クラブ設立準備委員

津田 葉 清政

10月11日グランドホテルにおいて、我がセンテニアルクラブがスポンサーとなって日本で最初の女性だけのクラブ結成に向けて、新入会予定者に対する説明会が開かれました。

自己紹介に始まり、職業とワイズ歴その他雑感を含めての紹介に、新入会予定者からも Y's に対する抱負や意気込みすら感じられる和やかな雰囲気の中で、長野クラブ今井利子さんが、女性 Y's メンとして、生き生きと Y's ライフを楽しんでおられる様子を語られ続いて「Y's 紹介ビデオ」で活動を知り、7名の新人の中には是非 Y's で協力したいという声もあり、チャーターに向けて頼もしい限りの一歩を踏み出しました。

次回、第2回目は 11月 8日(火)

是非、有望な新人をお誘い下さい。

◎「未使用テレホンカード」ご提供のお原真いっ

10月第2例会にて打合せの結果、Yサ・ASF資金を補うため、皆さんのお手元にある「未使用テレホンカード」のご提供をお願いすることになりました。なにとぞ田中 Yサ事業委員長までご提出願います。

◆◆◆ クラブ・ソング ◆◆◆

Once more we stand, new zeal our hearts imbuing;
We raise our hand, Our service pledge renewing,
Ne'er to deny our motto's claim,
Y's Men in fact as well as name,
Always our objects to pursue,
We consecrate ourselves anew.

うたえば ころろひとつに
ともがき ひろがりゆきて
とおきも ちかきもみな
ささげて 立つやワイズメン
さかえと ほまれゆたか
まことは 胸にあふれん

◆原稿は、出来れば毎月末日までに拙宅宛にご送付頂ければ幸甚であります。

FAX (06-876-1422, 電話共通) もご利用願います。ではよろしく…… ◎ (福永)

アメリカで拾った 「ジャガイモ」の話 -その1-

谷川 寛

毎年秋になると日本区のワイズは、十勝のジャガイモ販売で忙しい。大阪センテナルはメンバーの住いが散らばっているから、この事業を行っていないが、私の住んでいる楠葉は、枚方ワイズがこの事業で大変大きな動きをしている。

私たちも、殊にわがワイズメネットが、この販売をお手伝いしているが、このジャガイモは近所でも大変人気があり、毎年待っていて下さる人々がいる。

この時期になって、ジャガイモの販売をお手伝いすると思い出すが、アメリカでのジャガイモの話。

— . . . —

アメリカの移民の歴史で、忘れることの出来ない出来事に「ジャガイモききん」(POTATO FAMINE)がある。これはアメリカの話というより、アイルランドの出来事と言うべきかもしれない。アメリカの建国の歴史の中で、最初にヨーロッパから入植した人々が、イギリス人、オランダ人であったのに対して、そのあとの大量の移民はアイルランドからであった。このアイルランドの大量の移民を促した原因は、実に、「ジャガイモ」であった。

ジャガイモは、本来、南米あたりが原産地らしいが、16世紀にヨーロッパに渡り、やがて英国を経由してアイルランドに入った。そして、小麦に代わって、ジャガイモが、アイルランドの主食となった。この主食の座についたことが災いのもととなった。

1845年頃から始まったジャガイモの病害が、何年にもわたりアイルランドの作物を襲い、収穫を全滅させてしまった。このため起きた「ききん」はすさまじく、アイルランドの歴史を変えてしまった、と言われるほど。当時としてはおどろくべき数の百万人のアイルランド人が餓死し、100万人以上の人々が、1846年から55年の間に外国、主としてアメリカに移住した。この1846年の「ジャガイモききん」は、1860年までに、米国の総人口の5%近くをアイルランド系移民で占めるという結果をもたらした。これは当時のアメリカの移民の39.3%に当たると言う。

アイルランド移民と言えば、ケネディの名が思い出される。初代のパトリック・ケネディがこのききんで、アイルランドを後にボストンに辿り着いたのは1848年。現在のレーガンさんも、アイルランドの出身。初期のアイルランド移民は大半が、東部のニューヨーク、ボストンなどの大都市に落着いた。今日でも、アイルランド系の人々の祭日、セント・パトリック・デー (SAINT PATRICK'S DAY)には、ニューヨークの五番街で、パレードがある。この日は、アイルランドのシンボル、緑のクロバーと、目も鮮やかなグリーン色の服装が目立つ。かつて、ニューヨークの背の高いおまわり

さんは、大半がアイリッシュ(IRISH=アイルランド系)である、といわれた。

もし、アイルランドで、主食が小麦からジャガイモに代わらず、また代っても、1846年の「ジャガイモききん」がなかったら、ケネディ大統領も、レーガン大統領も生まれなかったかもしれない。

=関西いのちの電話=

創立記念バザー

*日時: 11月19日(土) 10:00~15:00

*場所: 十三 博愛社内 教会

皆様からの寄贈品をはじめ、相談員手作りの模擬店(うどん・焼きそば・たこ焼き・ビール・喫茶等)、その他豪華景品の当たる抽選会。ぜひお越し下さい。

販売等に協力出来る方は、10時博愛社正門前に集合。

*センテナル及び新クラブアビールのためにも多数参加希望。

・物品寄贈 送り先およびお問い合わせは:

大阪市淀川区十三元今里3丁目1番72号

関西いのちの電話事務局バザー係

☎ 06-308-6868

▽ 大阪YMCA ▽

=1994年度国際ファミリー クリスマス=

1. 日時: 12月17日(土) 5:00~7:00 p.m.
2. 場所: 大阪YMCA会館 2階大ホール
3. 目的: 各国留学生、在阪外国人を招待し、各国の料理を共に味わい、共に歌い、国際理解と国際交流を推進する。
また、心よりキリスト生誕を祝うプログラムとする。
4. プログラム:
 - I部 クリスマス礼拝
 - II部 各国の料理と文化交流
 - III部 クリスマスソングと軽音楽
5. 参加費: 大人 2,500円 中高校生 1,500円
小人・外国人・留学生 1,000円
6. 参加者(控): 360名
7. 後援(控): (財)関西テレビ青少年育成事業団
8. 参加領事館(控): ロシア、スリランカ、オーストラリア他
9. 主催: 大阪YMCA 国際文化センター、国際・社会奉仕センター

☺ニコニコ・メッセージより☺

◎今年の異状な暑さも去り、両親もおかげ様で元気になり、共に例会に出席出来ました事を感謝致します。

・・・東京クラブ 上原玉音

○ミャンマーの経済的貧困の話をもっと聞きました。が、国全体の民主化により状況がよくなると信じ、願ってやみません。

・・・黒田巖之

○ミャンマーのお話は、日本の終戦直後の話を聞いているようでした。自由があり、物質に恵まれた若い人々には考えられないことでしょう。

・・・栗山佳三

○山地先生、心温まるお話し有難うございました。

国際協力のあり方について再考できました。

・・・笹江良樹

○ビルマのお話を非常に身近かに感じるようにお話いただき、ありがとうございます。

・・・佐藤勝雄

○山地さんのとっても興味深いお話ありがとうございました。

私達にもお手伝い出来ることがたくさんありそうな気がして、うれしくなりました。

・・・杉浦真喜子

○健康と言うことに不注意だったことを恥じ入っています。

お蔭様で、私共二人はほぼ90%程迄回復しましたことを感謝しています。

・・・鈴木謙介・美藤

○2ヶ月例会を欠席し、久し振りに出席出来た喜びは、Y'sの会員でないと分からないと思います。

健康である幸を改めて感謝しております。センテニアル、又各クラブの皆様の温かいお慰めに心よりお礼申します。

今日はビルマの生活を承り、日本の恵まれた生活をありが度いと思います。

・・・鈴木美藤

○ミンガラパー

興味深いミャンマーのお話しありがとうございました。

・・・隅田 保

○本日のメネット会では、鈴木メネット、玉音さんを迎え、楽しい話し合いのひとつがもてました。

又、卓話下さった山地さんのお話しもとても興味深く、ミャンマーでのご奉仕を思いました。ありがとうございました。

・・・隅田恵子

○山地先生のお話大変興味深く拝聴いたしました。

感謝いたします。

・・・田中豊子

○今日はすばらしいお話を有難うございました。

・・・谷川 寛

○山地さんのお話し、興味深く聞かせて頂きました。

国際的奉仕御苦労様です。

・・・津田葉清政

○ミャンマーのお話を身近に聞かせていただき、私達にも何かお手伝い出来る様な気がしました。

・・・長瀬由香子

○ミャンマーのお話を伺い、手作りの作品も見せて頂きました。作品もそうですが、石けん等も昔なつかしい香りがしました。

・・・平田由喜子

○ミャンマーの現状とそこでの御奉仕をお聞きして、認識を新たにしました。感謝。

・・・福永嘉彦

○山地さんのミャンマーでのお働きを感謝してき、ました。何か小さな事でもお手伝い出来たらと思います。

・・・福永滋子

○山地女史の卓話、特殊な状況下にある独特な伝統習慣に由来する珍しいミャンマーのお話(生の見聞)雑誌等では伝えられてない事も知り得て、大変良かったと思います。ありがとうございました。

・・・藤井一郎

○次男の就職も内定し、ホットしております。あと1人です。

久し振りに皆様のお元気なお顔を拝願させて頂き、嬉しかったです。

・・・藤本史郎

○鎖国ミャンマーの様子を垣間見る様な体験談を聞かせて頂き、大変有難うございました。

YMCAとミャンマーの益々の交流を祈念致しております。

・・・藤原正巳

○有意義なお話しありがとうございました。

・・・真嶋克成

○ミャンマーでの貴重な体験談を興味深く拝聴いたしました。

・・・三浦直之

○山地和家子さんのミャンマーでの縫製指導のお話し興味深く聞かせて頂きました。

・・・森 晴美

○山地さんの「ミャンマーの話」大変身近な話でもおもしろかったです。出来ればもっとミャンマー全体のことを聞く機会があればと思います。

・・・矢部憲樹

○新しいクラブの第1回の説明例会を持つことが出来ました。今後共センテニアル皆さんの応援協力を期待しています。

・・・山田孝彦

○山地さんいろいろと御苦労様です。昨年はミャンマーでお世話をかけました。

・・・山村幸明

○例会を欠席しすみません。

・・・無名氏

[前月号脱落・訂正のお詫び]

脱落と多くの誤字があり、誠に申し訳ありません。

・当クラブ役員名に“副会長 杉浦真喜子”を挿入。

・「中西部合同メネット会に参加して」本文8行目：“石合美智子”を“灰谷美智子”に、下から6行目：“各カラオケ”を“各クラブ”に夫々訂正。

・「9月第2例会報告」(2)3行目：“長尾メネット”を“長尾メン”に訂正。

・「クラブ・ソング」1番の最後の行：“sonsecrate”を“consecrate”に訂正。

——悪しからず御容赦願います。(福永)